

田中 和子 TANAKA Kazuko

研究分野：看護学

キーワード：周産期看護、在日外国人女性、開発途上国



研究トピックス：

グローバル周産期看護に関する基盤的調査研究

研究の要旨：

日本の周産期医療はトップレベルにありながら、外国人妊産婦の母子保健指標はよいとはいええず、改善の取り組みは急務です。また、外国人材の受け入れを積極的に推進しているにもかかわらず、外国人妊産婦が抱える様々な困難に対応するグローバル看護ケアの開発が進んでおらず、その早期実現が求められています。私たちの研究は、看護の視点から外国人妊産婦の健康改善に焦点を当てたものであり、将来的にはグローバルな周産期看護ケアの開発を目指したいと考えています。

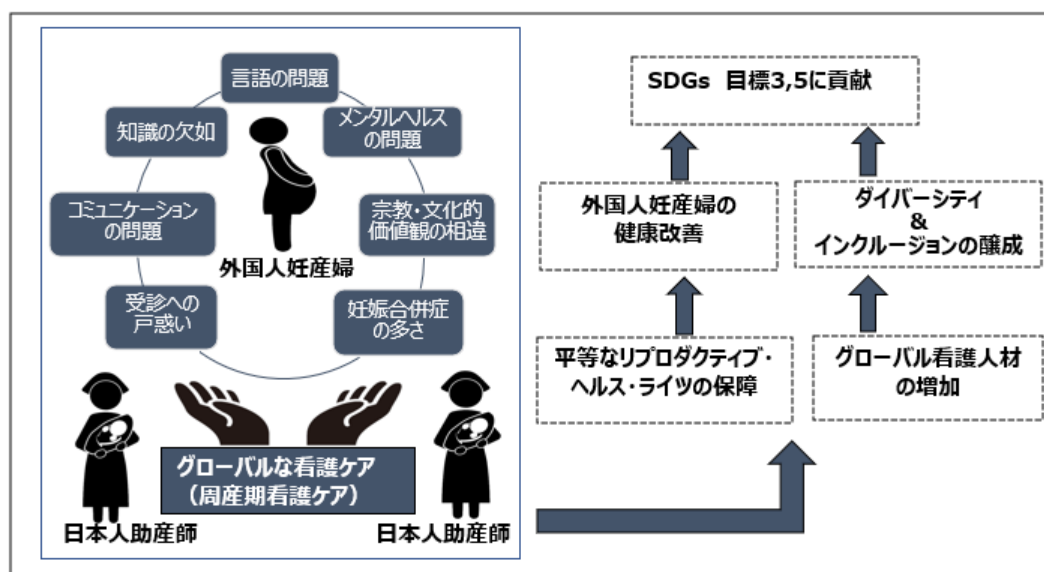


図 1 外国人妊産婦の現状の仮説と新規構想

主な関連業績：

Tanaka, K., Kurniasari, N. M. D., Widyanthini, D. N., Suariyani, N. L. P., Listyowati, R., Urayama, A., Wirawan, I. M. A., Yoshimura, K. (2020). Perception of childbirth experiences of Japanese women in Bali, Indonesia: a qualitative study. BMC Pregnancy Childbirth, 20(1), 760. doi:10.1186/s12884-020-03466-x
田中和子, 藤本富美江. (2022). パースプランの分析からみる妊婦の出産のイメージと要望. 日本医学看護学教育学会誌(31-1), 25-34.

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)